

第3回 マリンFM 番組審議会

株式会社横浜マリニエフエム「第3回番組審議会」の議事録

1. 開催年月日 令和2年8月22日（土） 17:00~18:15
2. 開催場所 株式会社横浜マリニエフエム（横浜市中区本牧1-9）
3. 委員総数（7名）出席委員数（4名）
 - ・間野義之 委員長
 - ・神山 篤 委員
 - ・嶋田昌子 委員
 - ・小松典子 委員

放送事業者側出席者（3名）

- ・代表取締役 笹原延介
- ・取締役 田畑三津広
- ・マリンFMスタッフ 島木好子

4. 議題

- (1) 挨拶（放送状況を説明）
- (2) 出席者紹介
- (3) 番組に対する意見交換
- (4) 番組編成について
- (5) その他意見交換

5. 審議内容

(1) 挨拶（放送事業者側より放送状況について説明）

- ・8月26日（水）に開局1周年を迎えることを報告。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令期間はリモート対応で放送を実施。現在もマスク着用、うがい、手指消毒、アクリル板使用等、安全を配慮して放送を実施中。
- ・横浜市山手警察署と「地域安全に関する協定」を結び、事件発生連絡を受けた際は即座に放送中。
- ・7月より「緊急割込みシステム」を取り入れ、中区から直接緊急時の放送を流せる体制を整えた。
- ・緊急事態宣言期間中、中区の小学校中学校の先生の声を届ける放送を実施。

(2) 出席者紹介（委員の異動について）

堀内かおる委員から小松典子委員に引き継がれた。

秋元正人委員が他界し委員から退く。

(3) 番組に対する意見交換

局側／緊急事態宣言期間中、近隣小学校中学校の先生の子どもたちに届ける放送を実施した。

今後も学校関連のレギュラー番組も検討中。

委員／地域ならではの放送であり、身近な人が出演することは放送の認知度が高まることにつながると感じた。

局側／中区職員等にご出演していただき、防災をはじめ中区行政からの情報を伝える「中区防災通信」番組を月に2回放送中。

委員／放送局を立ち上げた防災の趣旨にそった放送となっていると思う。

防災の中に今回の新型コロナウイルスに関する情報も入ることは心強く役立つ放送であり、防災の趣旨の災害定義を広げてもよい。

委員／「お馬流し中継」放送は良い取り組みであった。

局側／新型コロナウイルスの影響により、例年通りの例祭への参加が難しくなったことを受けて、地域の方々に様子を届けられるよう特別番組として今回初めて放送を実施した。

(4) 番組編成について

局側／月1回「はらっばうたごえ CLUB」を放送開始。

新型コロナの影響で中止となっているケアプラザ主催の歌の集会を、ラジオを通してアコーディオンの先生やボイスレスソンの先生のお手本にそって歌を楽しむ番組。

馬車道弁護士事務所から、身近な出来事を相談する街の法律相談の放送開始を予定。

学校関連番組として、教育相談（子どもたちの悩み、いじめ、不登校等）や疑問に対して、ヒントやサポートとなる番組を検討中。

「本牧ヤグチ」の番組が全国のコミュニティFM局で聴けるサイマルラジオへの導入が決定。

(5) その他意見交換

委員／配信サイトの対応について問う。

局側／ラジコは圏域以上の放送局であることの規定により入れられないが、今後配信サイトを増やす予定。

委員／スポンサーについて状況を問う。

局側／宝くじを除き、博打、借入消費者金融機関、競馬競輪場、ギャンブル、パチンコ等は難しい。

委員／地域に根差した放送局として、地域の方の顔が見える放送はよい。

観光資源が多くあるため、取り入れて地域性を出していくとよい。

詐欺の多い昨今、警察署のご出演の機会を設けるのもよい。

携帯電話使用によって全世界で聴かれるようになるとよい。

各委員から多数のご意見をいただき、神山委員の閉会の宣言によって本審議会のすべてを終了した。

以上